

# 2021年度 入学試験要項

大学院（通信教育課程）

BUKKYO UNIVERSITY

佛教大学

# 目 次

● 修士課程 入学試験要項	1
● 博士後期課程 入学試験要項	4
● 出願資格について	7
● 出願および受験に関する注意事項	7
● 学費・諸費一覧表	9
● 受験生の個人情報の取り扱いについて	10
● 佛教大学のアドミッションポリシー	11
● 履修方法について（修士課程）	13
● 入学から修了までの履修の流れ	17
● 履修方法について（博士後期課程）	21
● 専修免許状課程および教職・諸資格課程登録	27
● 学習支援について	29
● お問い合わせ等	31

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、入試日程、合格発表日等の  
変更および中止となる場合があります。ご了承ください。

# 修士課程入学試験要項

## 出願資格・入学定員

研究科名	専攻名	募集定員	出願資格
文学研究科	仏教学専攻	15名	次のいずれかの項目に該当する者 (1)大学を卒業した者および2021年3月卒業見込の者 (2)外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2021年3月修了見込の者 (3)文部科学大臣の指定した者 (4)学校教育法第104条第7項に定める者(独立行政法人大学改革支援・学位授与機構において学位を取得した者) (5)その他、本学において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者(詳細はp.7を参照)
	文学専攻	15名	
	歴史学専攻	15名	
教育学研究科	生涯教育専攻	10名	
	臨床心理学専攻	6名	
社会学研究科	社会学専攻	10名	
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	10名	

※博士前期課程は修士課程として取り扱います。

※得点状況等により、入学定員を充足しない場合があります。

## 修業年限

専攻	修業年限	最長在学年限
臨床心理学専攻以外の全専攻	2年	4年 ※休学期間(最長2年まで可)は含まない
臨床心理学専攻	3年	6年 ※休学期間(最長3年まで可)は含まない

## 出願期間・試験日・試験会場

種別	出願期間	試験日	試験会場
9月	2020年8月27日(木)~9月2日(水)<消印有効>	2020年9月19日(土)	佛教大学 紫野キャンパス
2月	2021年1月19日(火)~1月25日(月)<消印有効>	2021年2月20日(土)	

## 入学に関する注意事項

- ① 2021年4月1日以降、次の事項に該当する方は、本学規程(二重学籍の禁止)により入学できません。
  - 「学校教育法」に定める短期大学・大学・大学院・専攻科等に在籍している方
  - 外国の学校に在籍している方
- ② 国外在住の方は、国内在住者と同様の学習環境(大学からの郵送物は国内に限る)を保てる必要があります。
- ③ 外国人の方は、大学院で学習するのに十分な日本語能力を有すること、かつ、国内在住者と同様の学習環境(大学からの郵送物は国内に限る)を保てる必要があります。
- ④ 身体等に障がいのある方は、出願前に志願書類受付係まで相談してください。また、p.7の内容を必ず確認してください。
- ⑤ 学習には、インターネット接続環境を有したパソコン等が必要です(p.29参照)。

## ■ 試験科目・時間割・配点

研究科・専攻		科目・時間割・配点		専門	面接
				11:00~12:30	13:30から順次実施
				100点	4段階評価
文学研究科	仏教学専攻	専攻別 ※歴史学専攻は専門語学（中国語・朝鮮語・漢文・英語）を含む		専攻別	
	文学専攻				
	歴史学専攻				
教育学研究科	生涯教育専攻	英語の能力を問う問題を含む		専攻別	
	臨床心理学専攻				
社会学研究科	社会学専攻	専攻別		専攻別	
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻				

○面接は1人の受験生に対して複数の教員が実施します。

## ■ 選考方法

- 各専攻指定の試験科目の結果および提出された書類を総合的に評価し、合格者を選考します。
- 未受験科目があった場合、合否判定の対象となりません。

## ■ 出願書類

### 【全専攻共通の出願書類】

- 入学志願書(大学院)【本学所定用紙】
- 写真票【本学所定用紙】(写真1枚貼付必要)
- 卒業証明書または卒業見込証明書(出身大学より6か月以内に発行されたもの)
- 成績証明書(出身大学より6か月以内に発行されたもの)
- 志願者調書【本学所定用紙 志調-①～志調-③】(写真1枚貼付必要)
- 振込依頼書(B票・振込金受取書)【本学所定用紙】…銀行にて納入後、B票のみ提出してください。
- 課題記入用紙【本学所定用紙】…専攻ごとに●の表記のあるものを提出してください。

種類	注意事項	志願専攻別提出有無						
		仏 教 学	文 学	歴 史 学	生 涯 教 育	臨 床 心 理 学	社 会 学	社 会 福 祉 学
課題記入用紙①	本学所定用紙は、本学WEBサイト 入試情報より出力(A4サイズ)して ください	—	●	—	●	●	●	●
課題記入用紙②		●	●	●	●	●	—	—
課題記入用紙③		—	—	—	—	●	—	—

※パソコンにて作成する場合は、別紙にて作成したものを貼り付けるか直接入力してください。

### 【注意事項】

- 書類の記入にあたっては、必ず黒のボールペンを使用し、間違いのないよう記入してください（フリクション等の消せるペンは使用不可）。
- 書類記載の氏名と現在の氏名とが異なる場合は、同一人物であることを証明する書類（戸籍抄本）を提出してください（発行日より6か月以内のもの）
- 出願資格となる大学の証明書（大学以外で学士の学位を取得された場合はその証明書）を提出してください。

※出願資格となる大学を卒業後、大学・大学院を卒業・修了・退学されている場合は、入学手続時に直近に離籍した学校の離籍証明書が必要となります。

- ④「見込証明書」で提出された場合、後日離籍後の証明書の提出が必要です。
- ⑤本学通信教育課程の学部（本科）を卒業または卒業見込の場合は、本学通信教育課程の証明書のみ不要です。
- ※志願者調書の所定欄に学籍番号を記入してください。

本学所定用紙は、本学 WEB サイトの入試情報より出力（A4サイズ）してください。  
[https://www.bukkyo-u.ac.jp/find/exam/download/daigakuin\\_tsushin/](https://www.bukkyo-u.ac.jp/find/exam/download/daigakuin_tsushin/)

## ■入学試験検定料

出願期間中に銀行から 35,000 円を納入してください。納入方法については振込依頼書【**本学所定用紙**】の注意事項を参照してください。

※納入の際は、必ず通信教育課程用の振込依頼書を使用してください。

## ■出願方法

出願は郵送に限ります。市販の封筒に宛名ラベル【**本学所定用紙**】を貼付し、出願期間内に必ず簡易書留・速達郵便で送付してください。

## ■受験票

- 受験票は、入学志願書記載の書類送付先住所へ本人宛に送付します。届き次第、記載内容を確認し、誤りがあった場合は、志願書類受付係まで速やかに申し出てください。
- 試験日の4日前になっても受験票が届かない場合は、通信教育課程事務局（p.31参照）まで問い合わせてください（木・日・祝を除く）。

## ■結果発表・入学手続

種別	結果発表	入学手続締切	
		学 費	書 類
9月	2020年10月1日(木)	2020年10月16日(金)まで ＜締切日振込有効＞	2020年10月16日(金)まで ＜必着＞
2月	2021年3月1日(月)	2021年3月10日(水)まで ＜締切日振込有効＞	2021年3月10日(水)まで ＜必着＞

- 結果発表は、本学WEBサイトにて合格者の受験番号を掲出する方法で行います。パソコン・携帯電話・スマートフォン等から確認してください。
- ※携帯電話は、インターネットに接続可能なものに限りです。
- 掲出期間は、発表日を含め4日間、時間は発表日の9:00より最終日の16:00までです。
- 掲出による発表は速報です。合格者には大学から結果発表日に合格通知書および入学手続書類を、入学志願書記載の書類送付先住所へ本人宛に特定記録郵便にて発送します。なお、不合格者には通知書等の送付は行いません。
- 可否に関して、本学への電話による結果の確認、問い合わせなどについては一切応じません。
- 学費納入額についてはp.9を参照してください。
- 納入期限までに所定の学費を納入した方で、やむを得ず入学を辞退し学費の返還を希望する場合は、2021年3月31日正午までに学費返還に関する申請書（本学所定用紙）の提出があれば、入学金を除く学費を返還します。なお、手数料として別途5,000円が必要です。

## ■そ の 他

出願および受験に関する注意事項（p.7～）を熟読しておいてください。

# 博士後期課程入学試験要項

## 出願資格・入学定員

研究科名	専攻名	募集定員	出願資格
文学研究科	仏教学専攻	3名	次のいずれかの項目に該当する者 (1)日本の大学院(前期課程)において修士の学位を得た者および2021年3月までに修士の学位を得る見込の者 (2)外国において修士の学位またはそれに相当する学位を得た者 (3)文部科学大臣の指定した者 (4)その他、本学において大学院修士課程を修了した者と同等以上の学力があると認められた者(詳細はp.7を参照)
	歴史学専攻	3名	

※得点状況等により、入学定員を充足しない場合があります。

## 修業年限

研究科・専攻	修業年限	最長在学年限
文学研究科 仏教学専攻・歴史学専攻	3年	6年 ※休学期間(最長3年まで可)は含まない

## 出願期間・試験日・試験会場

出願期間	試験日	試験会場
2021年1月19日(火)～1月25日(月)<消印有効>	2021年2月20日(土)	佛教大学 紫野キャンパス

## 入学に関する注意事項

- ① 2021年4月1日以降、次の事項に該当する方は、本学規程(二重学籍の禁止)により入学できません。
  - 「学校教育法」に定める短期大学・大学・大学院・専攻科等に在籍している方
  - 外国の学校に在籍している方
- ② 国外在住の方は、国内在住者と同様の学習環境(大学からの郵送物は国内に限る)を保てる必要があります。
- ③ 外国人の方は、大学院で学習するのに十分な日本語能力を有すること、かつ、国内在住者と同様の学習環境(大学からの郵送物は国内に限る)を保てる必要があります。
- ④ 身体等に障がいのある方は、出願前に志願書類受付係まで相談してください。また、p.7の内容を必ず確認してください。
- ⑤ 学習には、インターネット接続環境を有したパソコン等が必要です(p.29参照)。

## 試験科目・時間割・配点

科目・時間割・配点		専門	面接
		11:00～12:30	13:30から順次実施
		100点	4段階評価
文学研究科	仏教学専攻 歴史学専攻	専攻別 ※歴史学専攻は専門語学（中国語・ 朝鮮語・漢文・英語）を含む	専攻別
○面接は1人の受験生に対して複数の教員が実施します。			

## 選考方法

- 各専攻指定の試験科目の結果および提出された書類を総合的に評価し、合格者を選考します。
- 未受験科目があった場合、合否判定の対象となりません。

## 出願書類

### 【全専攻共通の出願書類】

- 入学志願書(大学院)【**本学所定用紙**】
- 写真票【**本学所定用紙**】(写真1枚貼付必要)
- 修了証明書または修了見込証明書(出身大学院より6か月以内に発行されたもの)
- 成績証明書(出身大学院より6か月以内に発行されたもの)
- 志願者調書【**本学所定用紙 志調-①～志調-③**】(写真1枚貼付必要)
- 振込依頼書(B票・振込金受取書)【**本学所定用紙**】…銀行にて納入後、B票のみ提出してください。
- 修士論文またはそれに相当する研究実績
  - ・写し(コピー)可。修士論文を提出する場合は、論文要旨、修士論文、別冊資料(ある場合)を必ず一冊にまとめて提出してください(ホッチキス留め・ひもとじ等)。

### 【注意事項】

- 書類記載の氏名と現在に氏名とが異なる場合は、同一人物であることを証明する書類(戸籍抄本等)を提出してください(発行日より6か月以内のもの)。
- 書類の記載にあたっては、必ず黒のボールペンを使用し、間違いのないよう記入してください(フリクション等の消せるペンは使用不可)。
- 出願資格となる大学院の証明書(大学以外で修士の学位を取得された場合はその証明書)を提出してください。
  - ※出願資格となる大学院を修了後、大学・大学院を卒業・修了・退学されている場合は、入学手続き時に直近に離籍した学校の離籍証明書が必要になります。
- 「見込証明書」で提出された場合、後日離籍後の証明書が必要です。
- 本学通信教育課程の大学院を修了または修了見込の場合は、本学通信教育課程の証明書のみ不要です。
  - ※志願者調書の所定欄に学籍番号を記入してください。

本学所定用紙は、本学 WEB サイトの入試情報より出力(A4サイズ)してください。  
[https://www.bukkyo-u.ac.jp/find/exam/download/daigakuin\\_tsushin/](https://www.bukkyo-u.ac.jp/find/exam/download/daigakuin_tsushin/)

## 入学試験検定料

出願期間中に銀行から35,000円を納入してください。納入方法については振込依頼書【**本学所定用紙**】の注意事項を参照してください。

※納入の際は、必ず通信教育課程用の振込依頼書を使用してください。

## ■出願方法

出願は郵送に限ります。市販の封筒に宛名ラベル【**本学所定用紙**】を貼付し、出願期間内に必ず簡易書留・速達郵便で送付してください。

## ■受験票

- 受験票は、入学志願書記載の書類送付先住所へ本人宛に送付します。届き次第、記載内容を確認し、誤りがあった場合は、志願書類受付係まで速やかに申し出てください。
- 試験日の4日前になっても受験票が届かない場合は、通信教育課程事務局（p.31参照）まで問い合わせてください（木・日・祝を除く）。

## ■結果発表・入学手続

結果発表	入学手続締切	
	学 費	書 類
2021年3月1日(月)	2021年3月10日(水)まで ＜締切日振込有効＞	2021年3月10日(水)まで ＜必着＞

- 結果発表は、本学WEBサイトにて合格者の受験番号を掲出する方法で行います。パソコン・携帯電話・スマートフォン等から確認してください。  
※携帯電話は、インターネットに接続可能なものに限りです。
- 掲出期間は、発表日を含め4日間、時間は発表日の9：00より最終日の16：00までです。
- 掲出による発表は速報です。合格者には大学から結果発表日に合格通知書および入学手続書類を、入学志願書記載の書類送付先住所へ本人宛に特定記録郵便にて発送します。なお、不合格者には通知書等の送付は行いません。
- 可否に関して、本学への電話による結果の確認、問い合わせなどについては一切応じません。
- 学費納入額についてはp. 9を参照してください。
- 納入期限までに所定の学費を納入した方で、やむを得ず入学を辞退し学費の返還を希望する場合は、2021年3月31日正午までに学費返還に関する申請書（本学所定用紙）の提出があれば、入学金を除く学費を返還します。なお、手数料として別途5,000円が必要です。

## ■そ の 他

出願および受験に関する注意事項（p. 7～）を熟読しておいてください。

## 出願資格について

修士課程・博士後期課程の出願資格に記載の「その他、本学において大学（大学院）を卒業（修了）した者と同等以上の学力（能力）があると認められた者」について、学校教育法施行規則第155条第8号の規定により個別の入学資格審査を実施します。この審査において入学資格の認定を受けた方は、出願が可能となります。

入学資格審査を希望する方は、下記申請期間までに生涯学習部通信学生課まで資料を請求し、手続きしてください。必要書類は本学WEBサイトからもダウンロード可能です。

入学資格審査申請期間 2020年9月1日(火)～10月31日(土)

※入学資格審査の結果は2020年12月末までに通知します。よって認定を受けた方の出願は、2021年2月以降に実施の入学試験から可能となります（2020年9月実施の入学試験への出願はできません）。

## 出願および受験に関する注意事項

### 出願について

- ①不備のある出願書類、出願期間を過ぎて提出された出願書類は、一切受け付けません。
- ②提出された出願書類および納入された入学試験検定料は、理由の如何に関わらず返還いたしません。
- ③出願後の志望専攻等の変更は、一切認めません。
- ④本学では、氏名の漢字表記についてはシステム処理上、JIS第2水準までの使用を原則とします。旧字体・異字体などは、表示可能な代替の文字等（代替の文字がない場合はカタカナ）に置き換えて使用しますので、あらかじめご了承ください。

### 心身に障がいがある等配慮が必要な場合の注意事項

- 障がいのある受験生（補聴器・拡大鏡・クラッチなどの器具を使用する場合を含む）などについては、受験時の配慮および入学後の修学について事前相談を行っています。出願に先立ち、必ず、出願開始の1か月前までに入試種別・志望専攻等を生涯学習部通信学生課にご相談ください。
- 障がいなどの程度・種類により、必要に応じて事前面談を行います。
- 出願にあたっては、予め専門医の診断書等の提出が必要となる場合があります。出願開始までに生涯学習部通信学生課へ確認してください。
- 本学は、「佛教大学障がい学生支援ガイドライン」\*に基づき、障がいがある学生の受入れに向けて、設備等の改善を行っていますが、まだ完全とはいえません。個々の障がいの状況によっては、対応できないこともあります。

\*詳細は本学WEBサイトの「障がい学生支援」(<https://www.bukkyo-u.ac.jp/campuslife/disability/>)をご参照ください。

### 試験会場への入室

- ①試験開始の20分前までに指定の会場に入室してください。会場は当日、掲示にて指示します。
- ②遅刻者は原則として入室を許可しません。
- ③受験番号が机上に表示してありますので、確認のうえ、着席してください。
- ④前日の試験会場の下見は可能です。ただし建物内に立ち入ることはできません。
- ⑤自家用車・バイクでの来場は禁止します。また、周辺道路や近隣施設等への無断駐車はお止めください。

## ■持ち物・筆記用具

- ①受験票（忘れた場合は入試本部まで申し出てください）
- ②使用できる筆記用具は、黒鉛筆およびシャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り・時計（時計機能だけのもの）のみです。
- ③マスクを持参し、試験会場ではマスクの着用をお願いします。
- ④試験中は、携帯電話などの電子機器類や音の出る機器は電源を切り、カバンの中に片づけてください。
- ⑤試験会場内に大きな荷物を持ち込まないでください。
- ⑥試験会場には時計を設置していませんので、時計（時計機能だけのもの）を持参してください。

## ■試験時の注意

- ①受験票は机の上に置いてください。
- ②試験時間中の途中退室はできません。
- ③試験会場では試験監督者の指示にしたがってください。指示にしたがわなかったり、不正行為を行った場合は、退場や試験無効の措置をとることがあります。
- ④試験会場において他の受験者の迷惑となる行為（身体を揺する等）はしないでください。
- ⑤文字や地図等がプリントされている衣服等は着用しないでください。着用している場合には、脱衣を指示することがあります。

## ■学内食堂

学内食堂を営業していますので、ご利用ください。

## ■健康管理について

健康管理を心がけてください。持病のある方は常備薬を用意し、体調不全の方は事前に医療機関にて受診をしてください。日常より、手洗い・うがいの励行、マスクの着用、外出の自粛等、自己の健康管理に十分注意のうえ、受験に臨んでください。

## 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

試験当日、受験者が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス（COVID-19）、新型インフルエンザ（A型H1N1）等を含む）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮いただきます。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認められたときは、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置は行いません。罹患された場合は、試験当日までに入学部へご連絡ください。

感染症等の影響により、必要な措置を講じる場合があります。  
受験の前に本学WEBサイトにて確認をお願いします。

## ■その他

- ①本学より緊急の連絡事項等がある場合は本学 WEB サイトへ掲載しますので、受験の前に確認するようにしてください。
- ②受験に際して京都市内のホテル等に宿泊を希望する場合は、各自で早めに予約してください（行楽シーズンは宿泊施設の確保が困難になる場合があります）。
- ③試験会場周辺での下宿の斡旋等は、本学とは関係がありません。これらによるトラブルには一切関知しませんので注意してください。

# 学費・諸費一覧表

以下の表は2020年度の学費等を参考までに掲載したものです。  
2021年度の学費等は**2020年10月頃**に決定の予定です（合否通知送付時に別途掲載）。

## 大学院（修士課程・博士後期課程共通）

（2020年度実績）

〔単位：円〕

専攻 費目		入学時必要経費		本学出身者の入学時必要経費	
		臨床心理学専攻 以外	臨床心理学専攻	臨床心理学専攻 以外	臨床心理学専攻
入学金		53,000	53,000	免除	免除
学費	授業料	420,000	630,000	420,000	630,000
	システム利用料	5,000	5,000	5,000	5,000
学友会入会金		500	500	500	500
学友会費		1,500	1,500	1,500	1,500
入学初年度 納入金額		480,000	690,000	427,000	637,000

※2年目以降は学費および学友会費が毎年必要です。

- 2年次以降の授業料等は、その額を改定する場合があります。
- 各種履修登録費、教員免許状申請料等の費用が必要な場合があります。

### 【入学経費の減免措置】

本学通学課程ならびに通信教育課程出身者が大学院に入学される場合、入学金が全額免除されます。なお、入学経費の減免措置となる出身課程は、通学課程においては、学部・別科・大学院を対象とし、通信教育課程においては、学部（本科）・課程本科・大学院を対象とします。

### 【預金口座振替制度の加入ならびに登録手続きについて】

本学通信教育課程では、学生各自の預金口座から必要金額を自動的に振り替える「預金口座振替制度」を採用しており、入学後に登録手続きを行っていただきます。

この制度は、在籍中に発生する費用（2年目以降の学費等）の支払いに、その都度手間をとることなく、すべて各自の登録口座から自動で振替されるシステムで、修了等により学籍を離れると、自動的に契約が解除されます。

なお、本学に登録することのできる預金口座は、学生本人の口座を原則とします。学生本人以外の学費支弁者の預金口座を登録することも可能ですが、請求内容の連絡は、本学に登録されている学生本人宛に行います。学費支弁者に対しては、請求内容の連絡を行いませんので、学生本人が学費支弁者に対し、責任をもって請求内容を通知してください。

本学では入学前の寄付の募集は行っていません。  
入学後の寄付の募集については、すべて任意ですのでご留意願います。

## ■ ■ ■ ■ ■ 受験生の個人情報の取り扱いについて ■ ■ ■ ■ ■

佛教大学では、入学試験の出願に際して志願者から提供された個人情報については、個人情報保護に関する法令等を遵守し、「佛教大学個人情報保護に関する指針」に基づいて、厳重に管理し、以下の業務に利用いたします。

受験票の送付、試験の実施、合否判定、結果通知、入学手続処理、統計資料の作成

また、これらの業務について、その一部を業者に委託することがあります。個人情報の預託にあたり、委託先を厳正に選定し、必要な指導・監督などを行い、「佛教大学個人情報保護に関する指針」に従った方法により適切に取り扱うよう管理します。

## 【大学院修士課程】

### ●文学研究科仏教学専攻

- ①学士課程を修了し、日本語の文章理解・表現能力、ならびに特定外国語の基礎的な読解能力を持っている
- ②浄土学、仏教学、仏教文化を中心とした宗教文化・思想のいずれかを研究することに強い意欲を持ち、既に当該分野ならびに関連領域に関する基礎的な知識を持っている
- ③社会人である場合、研究の遂行に役立つような知識や経験を持っている

### ●文学研究科文学専攻

- ①学士課程を修了し、日本語の正確な読解・表現能力、ならびに中国語あるいは英語の基本的な読解能力を持っている
- ②日本、中国、英米の言語・文学・思想・文化を研究することに強い意欲を持ち、専攻を希望する領域ならびに関連領域に関する基礎的な知識を持っている
- ③社会人である場合、研究の遂行に役立つような知識や経験を持っている

### ●文学研究科歴史学専攻

- ①学士課程を修了し、日本語の文章読解・表現能力、ならびに特定外国語の基礎的な読解能力をもっている
- ②歴史学を研究することに強い意欲を持ち、既に当該分野ならびに関連領域に関する基礎的な知識をもっている
- ③社会人である場合、研究の遂行に役立つような知識や経験をもっている

### ●教育学研究科生涯教育専攻

- ①学士課程を修了し、日本語の文章読解・表現能力、ならびに特定外国語の基礎的な読解能力を持っている
- ②教育学を研究することに強い意欲を持ち、既に当該分野ならびに関連領域に関する基礎的な知識を持っている

### ●教育学研究科臨床心理学専攻

- ①学士課程を修了し、日本語の文章読解・表現能力、ならびに特定外国語の基礎的な読解能力を持っている
- ②臨床心理学、心理臨床学を研究することに強い意欲を持ち、既に当該分野ならびに関連領域に関する基礎的な知識を持っている

### ●社会学研究科社会学専攻

- ①学士課程を修了し、日本語の文章読解・表現能力、ならびに社会学研究あるいはソーシャル・マネジメント研究を行うのに必要な言語の基礎的な読解能力を持っている
- ②社会学研究あるいはソーシャル・マネジメント研究に強い意欲を持ち、専攻したい領域並びに関連領域について、基礎的な素養を持っている
- ③社会人である場合、研究の遂行に役立つような知識や経験を持っている

### ●社会福祉学研究科社会福祉学専攻

- ①学士課程を修了し、日本語の文章読解・表現能力、ならびに社会福祉学研究を行うのに必要な言語の基礎的な読解能力を持っている
- ②社会福祉学研究に強い意欲を持ち、専攻したい領域並びに関連領域について、基礎的な素養を持っている
- ③社会人である場合、福祉現場で研究経験があり、大学院での研究遂行に役立つ知識や経験を有している

## 【大学院博士後期課程】

### ●文学研究科仏教学専攻

- ①日本語の文章理解・表現能力, ならびに当該分野に関わる二カ国語以上の特定外国語の高度な読解能力を持っている
- ②すでに浄土学, 仏教学, 仏教文化を中心とした宗教文化・思想のいずれかに関する研究で修士の学位を持っている

### ●文学研究科歴史学専攻

- ①修士課程を修了し, 研究遂行に必要とされる基礎的な語学力をもっている
- ②歴史学を研究することに強い意欲を持ち, 既に当該分野ならびに関連領域に関する高度な知識をもっている

# 履修方法について(修士課程)

## テキスト履修(略号:T)

指定されたテキストをもとに自宅で学習し、レポートによる通信試験を受け、合格後に科目最終試験(在宅試験)を提出します。科目最終試験に合格すれば履修完了となり年度末に修得単位として認定されます。

## スクーリング履修(略号:S)

指定された日時に大学の教室もしくはオンラインで教員から直接授業を受けます。科目ごとに定められた受講時間(時間割)すべてに出席し、終了後に実施されるレポート試験または教室試験に合格すれば履修完了となり、年度末に修得単位として認定されます。専攻によって日程や時間割、修得できる単位数が異なります。

## テキスト・スクーリング履修(略号:T・S)

テキスト履修(T)とスクーリング履修(S)を併用する履修形態です。レポート、科目最終試験(在宅試験)、スクーリングすべてに合格しなければなりません。T履修とS履修は、どちらを先に履修してもかまいません。

※臨床心理学専攻のみの履修です。

## スクーリング・テキスト履修(略号:ST)

指定された日時に大学の教室もしくはオンラインで教員から直接授業を受けます。科目ごとに定められた受講時間(時間割)すべてに出席し、そこで指示された課題についてテキストなどで学習を深め、後日レポートを作成し、期限までに提出します。

## 修士論文・課題研究(略号:G)

指導教員による個別指導と修士論文中間発表会や合同授業における複数教員による集団指導を受けながら論文を作成します。

## 実習(略号:E)

配属実習のことです。

※臨床心理学専攻のみの履修です。詳細はpp.19~20を確認してください。

### テキスト履修のイメージ

#### テキストによる学習

テキストや参考文献を通して学習します。

ポータルサイト(B-net)を利用してレポートによる通信試験の提出と、科目最終試験答案の提出を行います。

#### レポート作成・提出(通信試験)

テキスト履修(T)の科目はそれぞれ設題が設けられています。その設題に基づいて研究の成果をレポートにまとめます。レポートの字数は、2単位で6,400字となります。完成したレポートは毎月、所定の受付期間にB-netにて提出し、レポートによる通信試験を受験します。

#### 科目最終試験受験

全ての設題分のレポートが合格すれば科目最終試験を受験します。試験方法は在宅での論述試験です。1科目につき3,200字程度にまとめて提出(随時提出が可能)、評価を受けます。

#### 単位認定

所定の履修期限までに合格することで当該年度の履修完了科目となります(3月25日付単位認定)。科目の評価は、レポートによる通信試験と科目最終試験の点数の平均で行います。

### スクーリング履修のイメージ

#### 受講申込み

授業ごとの年間開講日程を確認し、自らの学習計画に合わせて受講する授業を選択、受講の申込みをします。

ポータルサイト(B-net)を利用してスクーリングの受講申込み等を行います。

#### 事前学習

スクーリングを受講するまでに、担当教員から事前学習の指示があります。その指示にしたがって受講の準備(予習等)を行います。

#### スクーリング受講

授業ごとに定められた日程・受講時間に参加します。講義は通常大学もしくはオンラインにて行われますが、専攻によっては学外での実地講義等も行われます。最終講時に筆記試験またはテキスト等で学習を深め、提出するレポート試験が行われ、100点満点中60点以上が合格、59点以下は再受講となります。

#### 単位認定

合格した科目は、当該年度の履修完了科目となります(3月25日付単位認定)。

## 〈参考〉スクーリング開講科目・日程一覧(2020年度)

2020年度のスクーリング履修科目(S履修・T・S履修・ST履修)の開講日程を参考に掲載します。開講時期や受講日数等の目安として参照してください。なお、2021年度の開講日程は未定です(休講の場合もあります)。入学後、補助教材等でご案内します。

### 仏教学専攻

科目名	日程	修了にかかるスクーリング受講日数(目安)
仏教学研究基礎1	6月6日、7日	15日程度 受講が必要
仏教学研究基礎2	5月30日、31日	
仏教学研究基礎3	6月13日、14日	
法然教学演習1	8月5日、6日、7日	
法然教学演習2	10月3日、4日、10日	
浄土教学演習1	6月27日、28日、7月4日、5日	
浄土教学演習2	7月28日、29日、30日	
仏教学演習1	6月6日、7日、13日、14日	
仏教学演習2	7月23日、24日、25日	
仏教学演習3	7月27日、28日、29日	
仏教学演習4	7月30日、31日、8月1日	
仏教文化演習1	6月27日、28日、7月4日、5日	
仏教文化演習2	7月23日、24日、25日	
仏教文化演習3	11月1日、3日、7日	
仏教文化演習4	7月28日、29日、30日	
仏教学特論1	9月3日、4日、5日	
仏教学特論2	9月7日、9日、10日	

### 文学専攻

科目名	日程	修了にかかるスクーリング受講日数(目安)
日本文学研究基礎	6月27日、28日	10日程度 受講が必要
日本文学演習1	10月3日、31日、11月1日	
日本文学演習2	7月23日、8月4日、5日	
日本文学演習3	5月31日、7月4日、5日	
日本文学演習4	10月4日、11月7日	
日本語学演習	7月28日、29日	
書道研究	7月30日、31日	
漢文学研究	8月6日、7日、8日	
日本文学研究	8月2日、9日、10日	
中国文学研究基礎	7月4日、5日	
中国文学演習1	7月24日、25日	
中国文学演習2	7月29日、30日	
中国文学演習3	8月3日、4日	
中国語学演習	7月31日、8月1日	
中国思想演習	2020年度 休講	
異文化接触研究(中国)	7月28日、29日	
中国文学研究	7月23日、24日	
英米文学研究基礎	7月4日、5日	
英米文学演習1	7月23日、24日	
英米文学演習2	7月25日、26日	
英語学演習1	7月25日、26日	
英語学演習2	7月27日、28日	
異文化接触研究(英米)	7月23日、24日	
英米文学研究	7月27日、28日	

### 歴史学専攻

科目名	日程	修了にかかるスクーリング受講日数(目安)
歴史学研究基礎1	5月30日、31日	10日程度 受講が必要
歴史学史料演習1	7月31日、8月1日、2日	
歴史学史料演習2	8月7日、8日、9日	
歴史学特殊研究3	9月3日、4日、5日	
歴史文化資料演習1	8月4日、5日、6日	
歴史文化資料演習2	7月23日、24日、25日	
歴史文化特殊研究3	9月7日、8日、9日	
歴史学フィールドワーク	10月31日、11月1日	
外国語文献研究	6月13日、14日	
歴史情報資源論	11月7日、14日	

### 生涯教育専攻

科目名	日程	修了にかかるスクーリング受講日数(目安)
教育人間学演習	10月3日、4日、10日	9日程度 受講が必要
比較教育学演習	5月4日、5日、6日	
	6月28日、7月4日、5日	
教育制度学演習	7月28日、29日、30日	
教育方法学演習	8月8日、9日、10日	
仏教教育学演習	6月14日、20日、21日	

### 臨床心理学専攻

科目名	日程	修了にかかるスクーリング受講日数(目安)
臨床心理学特論1	10月31日	30日程度 受講が必要
臨床心理学特論2	11月1日	
臨床心理面接特論1	6月6日	
臨床心理面接特論2	11月7日	
臨床心理査定演習1	7月28日、29日、30日	
臨床心理査定演習2	9月20日、21日、22日	
臨床心理査定演習3	6月28日、7月4日、5日	
臨床心理査定演習4	7月31日、8月1日、2日	
臨床心理基礎実習1	7月28日~8月2日	
臨床心理基礎実習2	8月11日~16日	
臨床心理実習3	5月17日、6月21日、7月26日、9月13日、10月4日、11月1日、12月6日、1月24日	
心理実践演習(GSV)	2020年度 休講	
心理統計法特論	8月7日、8日、9日	
家族臨床心理学特論	10月3日、4日	
学校臨床心理学特論2	2020年度 休講	
心理療法特論1	8月4日、5日、6日	
心理療法特論2	2020年度 休講	
心の健康教育に関する理論と実践	6月14日、20日、21日	

### 社会学専攻

科目名	日程	修了にかかるスクーリング受講日数(目安)
社会学理論研究	5月30日、31日	8日程度 受講が必要
社会学演習1(社会文化)	7月4日、5日	
社会学演習2(社会情報)	10月3日、4日	
社会学演習3(共生臨床)	7月23日、24日	
社会学演習4(社会理論)	6月27日、28日	
社会調査論	10月31日、11月1日	
ソーシャルマネジメント理論研究	6月6日、7日	
ソーシャルマネジメント演習1(環境)	6月13日、14日	
ソーシャルマネジメント演習2(環境)	6月20日、21日	
ソーシャルマネジメント演習3(地域)	7月25日、26日	
ソーシャルマネジメント演習4(地域)	8月1日、2日	
地域公共政策論	通学課程と合同開講	
地域公共政策演習1		
地域公共政策演習2		
地域公共政策演習3		

### 社会福祉学専攻

科目名	日程	修了にかかるスクーリング受講日数(目安)
社会福祉学研究基礎I	5月30日、31日、6月6日、7日	16日程度 受講が必要
乳幼児保育特殊研究	7月4日、5日	
児童福祉特殊研究	8月4日、5日	
障害者福祉特殊研究	7月24日、25日	
高齢者福祉特殊研究	6月13日、14日	
精神保健福祉特殊研究	7月28日、29日	
医療福祉特殊研究	10月3日、4日	
地域福祉特殊研究	8月7日、8日	
現代社会福祉問題特殊研究	8月8日、9日	
乳幼児保育特殊演習	6月27日、28日	
児童福祉特殊演習	6月20日、21日	
障害者福祉特殊演習	7月23日、24日	
高齢者福祉特殊演習	10月31日、11月1日	
精神保健福祉特殊演習	7月29日、30日	
医療福祉特殊演習	10月10日、11日	
地域福祉特殊演習	11月7日、14日	
共生とケアI	7月31日、8月1日	
共生とケアII	8月1日、2日	
福祉の国際比較	8月5日、6日	

## 修士論文・課題研究(略号:「G」)

研究から提出まで2か年をもって取り組みます。広い視野に立つ精深な学識と、その専攻分野において有する高度な研究能力を立証することが要求されます。なお、本学大学院では「修士論文」「課題研究」は単位化せず、所定の修了単位とは別に課します。

### 修士論文・課題研究作成のイメージ

#### 研究テーマの提出と指導教員の決定

所定の時期(入学手続き時に指示)に、各々の研究対象や課題に則して「研究テーマ」を作成し、提出します。提出された「研究テーマ」に基づき指導教員が決定します。

#### 「研究計画書」の作成・提出

指導教員が決まると、その指導のもと、より具体的な「研究計画書」の作成にかかります。作成には、指導教員との面接指導のやり取りが重要となります。

ポータルサイト(B-net)を利用して面接指導の申込みや「研究計画書」、「草稿」等の提出を行うことが可能です。

#### 「研究計画書」に基づき個人研究

テキスト履修、スクーリング履修を通じて研究内容に沿った学習やその周辺領域の学習を重ね、専門性を高めていきます。スクーリングの受講は、他の学生同士の人的交流・情報交換の場として、学習意欲を高める絶好の機会となります。また、指導教員に面接指導を申し込むこともできます。研究が進むと、中間発表会等に参加し、研究成果の一部を発表する機会があります。ここでは各自の研究内容に対して、専攻の教員や他の学生から意見交換、質疑応答等を行います。周辺領域の分野から積極的な提案、提起を行うことは、在宅での研究に閉鎖的、孤立的、自己偏重になりがちな各個人の研究活動を、広い視野から見つめ直し、新たな方向性を発見したり、共同研究や学術論文への投稿につながる契機となることでしょう。



#### 「草稿」の作成・提出

「研究計画書」に基づく個人研究が進み、論文題目登録を完了すると、「草稿」の作成にとりかかります。「草稿」は清書論文を想定した内容・分量となりますが、常時大学に通学できない通信教育課程の学生にとっては、「草稿」を作成・提出→指導教員による添削・面接指導→「草稿」の再提出…といった過程を経ることで、質的に高い論文完成への下地となります。特に精度の高い論文を書き上げるためには、指導教員との面接指導が重要となります。



#### 「修士論文」作成・提出

「草稿」を提出し、「修士論文・課題研究」としての内容が認められ、かつ修了要件となる所定の単位を修得する見込みがある場合は、清書の許可が与えられます。「修士論文・課題研究」の分量は40,000字程度が基準となりますが、専攻ならびに指導教員の判断によりその内容が増減する場合もあります。また、論文と共に、補助資料並びに今後の当該論文の検索の便を図るために、1,000字程度の「論文要旨」の添付が義務付けられます。

#### 口頭試問

「修士論文・課題研究」を所定の期日までに提出できれば、口頭試問を実施します。口頭試問での修士論文・課題研究の審査は、指導教員を含めた3名の審査員が行います。



## 学部聴講について

学部聴講とは、学習性向や教育課程の多様化のなかで、各専門分野の隣接領域の基礎科目等を履修することにより、専門分野研究の補完等を目的として設けている制度で、全専攻履修可能です。

※基礎となる学部・学科が開講する共通教育科目・専門教育科目で論文指導教員が承認した科目に限ります。

※別途、登録費等が必要となります。詳細は入学後『大学院のしおり』でご案内します。



## 通学課程開講科目の履修について

在籍する専攻と同じ通学課程の専攻で開講する科目を登録し履修することができる制度です。

通学課程大学院開講科目の履修が可能な専攻は、仏教学専攻・文学専攻・歴史学専攻・社会学専攻のみです。

※登録は、年間4単位を上限とし、修得した単位は、関連科目として6単位を上限に修了単位として算入することができます。

※各研究科・専攻で指定される科目に限ります。

※別途、登録費が必要となります。詳細は入学後『大学院のしおり』でご案内します。



# 入学から修了までの履修の流れ

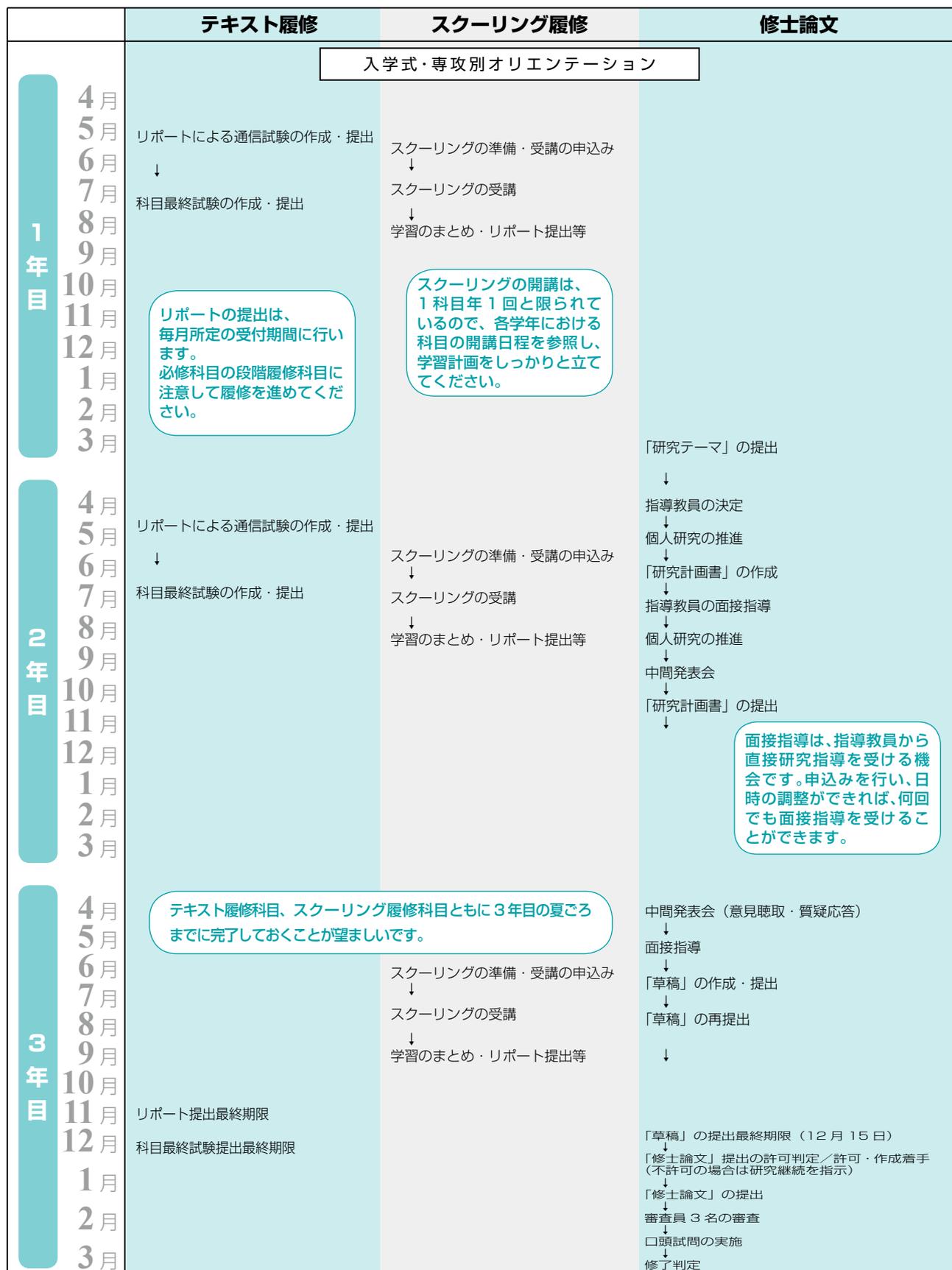
修業年限 2 年の場合（臨床心理学専攻以外）

	テキスト履修	スクーリング履修	修士論文	
	入学式・専攻別オリエンテーション			
1 年 目	4月	レポートによる通信試験の作成・提出	「研究テーマ」の提出（入学手続き時に指示）	
	5月	↓	↓	
	6月	科目最終試験の作成・提出	指導教員の決定	↓
	7月		スクーリングの準備・受講の申込み	面接指導
	8月		↓	↓
	9月		スクーリングの受講	個人研究の推進
	10月		↓	↓
	11月		学習のまとめ・レポート提出等	面接指導
	12月			「研究計画書」の提出
	1月			↓
	2月			個人研究の推進
	3月			↓
2 年 目	4月		中間発表会（日程は専攻により異なる）	
	5月		↓	
	6月		面接指導	↓
	7月		スクーリングの準備・受講の申込み	「修士論文」作成の許可まで「草稿」に基づき面接指導を幾度も受けることになります。
	8月		↓	↓
	9月		スクーリングの受講	「草稿」の作成・提出
	10月		↓	面接指導（「草稿」に基づき）
	11月		学習のまとめ・レポート提出等	「草稿」の再作成・再提出
	12月			面接指導（「草稿」に基づき）
	1月	レポート提出最終期限		↓
	2月	科目最終試験提出最終期限		「草稿」の提出最終期限（12月15日）
	3月			「修士論文」提出の許可判定／許可・作成着手（不許可の場合は研究継続を指示）
			「修士論文」の提出	
			審査員 3 名の審査	
			口頭試問の実施	
			修了判定	

## 課程の修了

所定の修業年限を満たし必要な単位を修得し、かつ口頭試問実施の上、論文審査に合格することで修了となり、修士の学位が授与されます。

修業年限 3 年の場合（臨床心理学専攻） ※配属実習系科目を除く



課程の修了

所定の修業年限を満たし必要な単位を修得し、かつ口頭試問実施の上、論文審査に合格することで修了となり、修士の学位が授与されます。

## 臨床心理学専攻(修士課程)の履修について

### 授業科目の履修について

- (1) 専攻科目は、必修科目10科目17単位を履修します。
- (2) 「臨床心理実習1」「臨床心理実習2」もしくは、「臨床心理実習(心理実践実習(医療))」、「臨床心理実習(心理実践実習(教育))」のいずれかから、2科目8単位以上を履修します。
- (3) 関連科目は、A群～E群の各群からそれぞれ2単位以上、合計10単位以上を選択履修します。
- (4) 前記(1)(2)(3)の要件を満たし合計30単位以上を修得することとなります。
- (5) 専攻科目の必修科目は段階履修です。したがって、1年次履修指定の必修科目「臨床心理学特論1」「臨床心理学特論2」「臨床心理面接特論1」「臨床心理面接特論2」「臨床心理査定演習1」「臨床心理査定演習2」の6科目12単位すべてを履修し合格しなければ、2年次履修指定の必修科目「臨床心理基礎実習1」「臨床心理基礎実習2」の2科目2単位を履修することはできません(修了時期が延期されます)。同様に、2年次履修指定の必修科目「臨床心理基礎実習1」「臨床心理基礎実習2」の2科目2単位すべてを履修し合格しなければ、3年次履修指定の必修科目「臨床心理実習1」「臨床心理実習2」「臨床心理実習(心理実践演習(医療))」「臨床心理実習(心理実践実習(教育))」「臨床心理学研究指導演習」の5科目18単位を履修することはできません(修了時期が延期されます)。
- (6) 臨床心理士の受験資格を得ようと希望する場合、関連科目の履修に際しては、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が指定する5領域からそれぞれ2単位以上を選択履修することが必要です。

### 修士論文の作成について

- (1) 1年次終了時に研究テーマを提出します。研究テーマは、「力動臨床心理学」、「行動臨床心理学」および「社会臨床心理学」のいずれかの領域から設定することとなります。したがって、関連科目の選択においては、研究テーマを視野にいれて授業科目の履修計画を立ててください。
- (2) 提出された研究テーマにより、指導教員が決定し2年次から修士論文作成に向けた研究指導が開始されます。
- (3) 3年次には、2年次の研究指導に基づき修士論文作成の指導を引き続き受け、修士論文の仕上げをはかります。
- (4) 最終学年の12月15日までに、修士論文を完成し草稿を提出します。指導教員から清書許可が出れば、修士論文の清書にかかり、翌年1月末までに修士論文(40,000字程度)を提出します。ただし、修了要件を修得見込みでない場合は提出できません。
- (5) 提出した修士論文に対し、2月に口頭試問を実施します。審査は指導教員を含めた3名の審査員が行います。
- (6) 各学年で、修士論文中間発表会に出席しなければなりません。また指導教員の指導に基づき研究成果を発表します。
- (7) p.15「修士論文・課題研究作成のイメージ」およびp.18「入学から修了までの履修の流れ」も参照してください。

### 心理実践実習・臨床心理実習について

- (1) 「臨床心理実習(心理実践実習(医療))」／「臨床心理実習1」は、医療関連機関で実際に臨床活動に携わり、現場の実習指導者と担当教員等の指導のもと、現場のスタッフたちとの連携、精神障害者や高齢者の人達との関わりを通しての訓練を受けます。週1日の実習を15週にわたり医療関連機関に通って実施します。実習実施の指定機関や日程の決定に際しては、授業担当教員および実習指導講師の指導を受けなければなりません。

#### 「臨床心理実習(心理実践実習(医療))」 「臨床心理実習1」

- <実習方法> 配属実習
- <実習時期> 3年次以降
- <実習場所> 医療関連機関
- <実習期間> 週1日(15週)

(2)「臨床心理実習(心理実践実習(教育))」／「臨床心理実習2」は、小学校・中学校・高等学校の教育関連機関で実際に臨床活動に携わり、現場の実習指導者と担当教員の指導のもと、支援を必要とする子どもたち、教師や保護者との関わりを通して訓練を受けます。週1日の実習を15週にわたり教育関連機関に通って実施する。実習実施の指定機関や日程の決定に際しては、授業担当教員および実習指導講師の指導を受けなければなりません。

(3)「臨床心理実習3」は、「臨床心理実習(心理実践実習(医療))」・「臨床心理実習1」、「臨床心理実習(心理実践実習(教育))」・「臨床心理実習2」で担当している事例のカウンセリングやプレイセラピーまたはグループの実習内容について、授業担当教員のスーパーヴィジョンを受けます。スクーリング開講日程は、年度によって異なるので、授業担当教員の指導に従って受けることになります。

(4)「心理実践実習(福祉)」は、福祉分野に関する学外施設において、現場の実習指導者と担当教員の指導のもと、援助技術、チームアプローチ、多職種連携及び地域連携、職業倫理・法的義務の理解等について、ケース担当を含む実習を行います。週1日の実習を15週にわたり福祉関連機関に通って実施します。実習実施の指定機関や日程の決定に際しては、授業担当教員および実習指導講師の指導を受けなければなりません。

(5)「心理実践実習(犯罪・産業)」は、犯罪・産業分野に関する学外施設において、現場の実習指導者と担当教員の指導のもと、援助技術、チームアプローチ、多職種連携及び地域連携、職業倫理・法的義務の理解等について、施設見学や体験を中心とした実習を行います。計6日にわたり犯罪・産業関連機関に通って実施します。実習実施の指定機関や日程の決定に際しては、授業担当教員および実習指導講師の指導を受けなければなりません。

(6)「心理実践実習(GSV)」は、「心理実践実習(福祉)」、「心理実践実習(犯罪・産業)」で担当している事例のカウンセリングやプレイセラピーまたはグループの実習内容について、授業担当教員のスーパーヴィジョンを受けます。スクーリング開講日程は、年度によって異なるので、授業担当教員の指導に従って受けることになります。

### 「臨床心理実習(心理実践実習(教育))」 「臨床心理実習2」

<実習方法> 配属実習  
<実習時期> 3年次以降  
<実習場所> 小学校・中学校・高等学校の教育関連機関  
<実習期間> 週1日(15週)

### 「臨床心理実習3」

<履修方法> スーパーヴィジョン(教員による面接指導)  
<履修時期> 3年次以降(年8日程度)

### 「心理実践実習(福祉)」

※公認心理師国家試験受験資格取得希望者のみ

<実習方法> 配属実習  
<実習時期> 2年次以降  
<実習場所> 福祉関連機関  
<実習期間> 週1日(15週)

### 「心理実践実習(犯罪・産業)」

※公認心理師国家試験受験資格取得希望者のみ

<実習方法> 配属実習  
<実習時期> 2年次以降  
<実習場所> 犯罪・産業関連機関  
<実習期間> 6日間

### 「心理実践実習(GSV)」

※公認心理師国家試験受験資格取得希望者のみ

<履修方法> スーパーヴィジョン(教員による面接指導)  
<履修時期> 2年次以降(年6日程度)

※臨床心理士認定試験受験資格取得希望者の「臨床心理実習1」および「臨床心理実習2」の実習機関については、実習開始予定の少なくとも1年前には各自で探し始め、できるだけ早い時期(実習開始前年の年末頃)に受け入れの内諾を得るよう努めなければなりません。

※公認心理師国家試験受験資格取得希望者の各種実習の実習機関については、2年次の実習前年度にあたる1年次7月頃に資格取得希望者を募り、配属の可否を決定したうえで、本学により配属機関を決定します。

※公認心理師国家試験受験資格取得希望者は、厚生労働省ホームページ「公認心理師の資格取得方法について」を参照の上で、公認心理師法施行規則において定められている必要な科目を出身大学において履修済みであるかを、出身大学にて確認しておくことが必要です。

## 履修方法について(博士後期課程)

### 仏教学専攻(博士後期課程)の履修について

#### 授業の履修方法について

博士後期課程の授業は、スクーリング履修(面接授業)とメディア履修(メディアを利用して行う授業。情報通信技術を利用して授業・論文指導を展開する)を併用する授業で、これを「スクーリング・メディア履修(SI履修)」と称します。履修方法は、スクーリングの受講と、年2回開催する論文中間発表会への出席と最低1回の研究発表が必要となります。そして各在学年の1月末までに「研究報告論文」(40,000字程度)を提出し、この成果により評価されます。

#### 授業科目の履修について

必修科目「仏教学研究指導演習I」・「仏教学研究指導演習II」・「仏教学研究指導演習III」の3科目6単位を履修します。1年次に「仏教学研究指導演習I」、2年次に「仏教学研究指導演習II」、3年次に「仏教学研究指導演習III」と3年間にわたり段階的に履修しなければなりません。

#### 「博士の学位請求論文」の作成について

「博士の学位請求論文」(120,000字程度)を、3年間で作成することを基本としています。以下に年次別のスケジュールを記します。なお、3年間で「博士の学位請求論文」を作成することが諸事情で困難な場合、在学は最長6年間(休学を含まず)可能ですので、各自のおかれている状況に応じて、この期間で「博士の学位請求論文」の作成計画を立てることも必要になります。

#### ●1年次

- (1) 修士課程で習得した学識と成果をもとに、各自が研究テーマを設定して「研究計画書(案)」を作成し、所定の時期(入学手続時に指示)に事務局に提出します。
- (2) 提出された「研究計画書(案)」に基づき指導教員が決定します。
- (3) 「仏教学研究指導演習I」のスクーリングを受講し、指導教員の面接指導を受けて、より確かな「研究計画書」を策定します。以降、この計画書に基づいてスクーリングを1月までに全て受講し、指導教員の研究指導を受けます。
- (4) 論文中間発表会が開催されます(年2回)。指導教員の指導を受けて、2回ともに出席し、最低1回、研究成果の発表を行います。この発表会には、指導を担当する教員全員と博士後期課程に在籍する通学課程、通信教育課程の大学院生全員が出席し、相互に質疑応答を行います。この場で得た批評を再考し、さらなる研究を展開します。
- (5) 1月末までに、1年間の研究成果を「研究報告論文」(40,000字程度)にまとめ、事務局に提出します。
- (6) 「仏教学研究指導演習I」のスクーリングの受講と「研究報告論文」により「仏教学研究指導演習I」の成績評価が行われ、合格すれば2単位を得ることができ、2年次の「仏教学研究指導演習II」の履修に進むことができます。もしも不合格であった場合、2年次に「仏教学研究指導演習I」を再履修することになり、1年間の在学延長が確定します。

## ●2年次

- (1) 1年次に提出した「研究報告論文」をもとに、より新しい考え方やより高度で深慮に富む学識の習得を目指し、引き続き研究指導を受けます。
- (2) 研究の進展に応じて、「仏教学研究指導演習Ⅱ」のスクーリングを1月までに全て受講し、指導教員の面接指導を受けます。以降、指導に基づき研究を進めます。
- (3) 論文中間発表会が開催されます(年2回)。1年次と同様に、指導教員の指導を受けて、2回ともに出席し、最低1回、研究成果の発表を行います。そして発表会で得た批評を再考し、さらなる研究を展開します。
- (4) 1月末までに、2年次の研究成果を「研究報告論文」(40,000字程度)にまとめ、事務局に提出します。
- (5) 「仏教学研究指導演習Ⅱ」のスクーリングの受講と「研究報告論文」により「仏教学研究指導演習Ⅱ」の成績評価が行われ、合格すれば2単位を得ることができ、3年次の「仏教学研究指導演習Ⅲ」の履修に進むことができます。もしも不合格であった場合、3年次に「仏教学研究指導演習Ⅱ」を再履修することになり、1年間の在学延長が確定します。

## ●3年次

- (1) 1年次および2年次に提出した「研究報告論文」をもとに、引き続き研究指導を受けます。
- (2) 研究の進展に応じて、「仏教学研究指導演習Ⅲ」のスクーリングを全て受講し、指導教員の面接指導を受けます。以降、11月末までに「博士の学位請求論文」(120,000字程度)の提出を目指して、研究を進展させます。
- (3) 論文中間発表会が開催されます(年2回)。指導教員の指導を受けて研究成果の発表を行います。そして発表会で得た批評を再考し、「博士の学位請求論文」として仕上げていきます。
- (4) 指導教員の承認を得て、11月末までに、「博士の学位請求論文」を事務局に提出し、審査を受けます。
- (5) 1～2月に審査員3名(主査1名・副査2名)の口頭試問による最終審査を受けます。
- (6) 審査員の論文審査の結果報告に基づき、研究科教授会で「博士の学位」授与の可否が審議、判定されます。その結果「可」と判定されれば、課程修了となります。なお、同時に「仏教学研究指導演習Ⅲ」も合格となり2単位を修得することができます。「否」と判定された場合は、その判定内容をもとに、指導教員のさらなる指導を受けて研究を再開し、翌年度以降「博士の学位請求論文」を再提出し、課程修了を目指すことになります。

## ●補足

規定のスクーリング(面接指導)以外に、随時、面接指導を受けることができます。

## 入学から修了までの基本スケジュール

	学 生		指導教員
	授業科目の履修	「博士の学位請求論文」の作成	
		●3月「研究計画書(案)」提出	
1 年 次	●指導教員担当の「研究指導演習Ⅰ」 1科目を履修 5月～1月にスクーリングを受講	●6月「研究計画書」提出 ●7月～9月 論文中間発表会 ●11月～12月 論文中間発表会 ●1月「研究報告論文」提出	●研究指導教員の決定 ●研究計画の立案指導 ●研究計画の了承  ●研究、論文作成指導 ●随時、メディア等を利用して論文 作成指導 ●次年度研究計画の指導
2 年 次	●指導教員担当の「研究指導演習Ⅱ」 1科目を履修 1月までにスクーリングを受講	●7月～9月 論文中間発表会 ●学会で口頭発表 ●11月 学術雑誌への投稿 ●11月～12月 論文中間発表会 ●1月「研究報告論文」提出	●学会で口頭発表を指導 ●学術雑誌(学会誌を含む)への 投稿を指導 ●次年度研究計画の指導 ●「博士の学位請求論文」概要了承
3 年 次	●指導教員担当の「研究指導演習Ⅲ」 1科目を履修 「博士の学位請求論文」提出までに スクーリングを受講	●博士論文作成 ●7月～9月 論文中間発表会 ●11月～12月 論文中間発表会 ●11月「博士の学位請求論文」 (120,000字程度)提出	●学内外の研究発表の評価および 批判に基づき、研究指導 ●「博士の学位請求論文」提出了承  ●研究科教授会に審査請求

※上記のスケジュールは基本モデルです。特に2年次においては、学外学会での口頭発表や学術雑誌(学会誌を含む)への投稿等、指導教員の指導を受けつつ積極的な取り組みが望まれます。

(補足)○「博士の学位請求論文」の受理を研究科教授会で決定し、その後、審査員(3名)により審査が開始されます。

○1～2月中旬頃に口頭試問等による最終審査を実施した後、研究科教授会にて、審査員の論文審査報告の内容を審議し、「博士の学位」授与の可否を判定します。

## 歴史学専攻(博士後期課程)の履修について

### 授業の履修方法について

博士後期課程の授業は、スクーリング履修(面接授業)とメディア履修(メディアを利用して行う授業。情報通信技術を利用して授業・論文指導を展開する)を併用する授業で、これを「スクーリング・メディア履修(SI履修)」と称します。履修方法は、スクーリングの受講と、年2回開催する論文中間発表会への出席と最低1回の研究発表が必要となります。そして各在学年の1月末までに「研究報告論文」(40,000字程度)を提出し、この成果により評価されます。

### 授業科目の履修について

必修科目「歴史学研究指導演習Ⅰ」・「歴史学研究指導演習Ⅱ」・「歴史学研究指導演習Ⅲ」の3科目6単位を履修します。1年次に「歴史学研究指導演習Ⅰ」、2年次に「歴史学研究指導演習Ⅱ」、3年次に「歴史学研究指導演習Ⅲ」と3年間にわたり段階的に履修しなければなりません。

### 「博士の学位請求論文」の作成について

「博士の学位請求論文」(100,000字程度)を、3年間で作成することを基本としています。以下に年次別のスケジュールを記します。なお、3年間で「博士の学位請求論文」を作成することが困難な場合、在学は最長6年間(休学を含まず)可能ですので、各自のおかれている状況に応じて、この期間で「博士の学位請求論文」の作成計画を立てることも必要になります。

#### ●1年次

- (1) 修士課程で習得した学識と成果をもとに、各自が研究テーマを設定して「研究計画書(案)」を作成し、所定の時期(入学手続時に指示)に事務局に提出します。
- (2) 提出された「研究計画書(案)」に基づき指導教員が決定します。
- (3) 「歴史学研究指導演習Ⅰ」のスクーリングを受講し、指導教員の面接指導を受けて、より確かな「研究計画書」を策定します。以降、この計画書に基づいてスクーリングを1月までに全て受講し、指導教員の研究指導を受けます。
- (4) 論文中間発表会が開催されます(年2回)。指導教員の指導を受けて、2回ともに出席し、最低1回、研究成果の発表を行います。この発表会には、指導を担当する教員全員と博士後期課程に在籍する通学課程、通信教育課程の大学院生全員が出席し、相互に質疑応答を行います。この場で得た批評を再考し、さらなる研究を展開します。
- (5) 1月末までに、1年間の研究成果を「研究報告論文」(40,000字程度)にまとめ、事務局に提出します。
- (6) 「歴史学研究指導演習Ⅰ」のスクーリングの受講と「研究報告論文」により「歴史学研究指導演習Ⅰ」の成績評価が行われ、合格すれば2単位を得ることができ、2年次の「歴史学研究指導演習Ⅱ」の履修に進むことができます。もしも不合格であった場合、2年次に「歴史学研究指導演習Ⅰ」を再履修することになり、1年間の在学延長が確定します。

## ●2年次

- (1) 1年次に提出した「研究報告論文」をもとに、より新しい考え方やより高度で深慮に富む学識の習得を目指し、引き続き研究指導を受けます。
- (2) 研究の進展に応じて、「歴史学研究指導演習Ⅱ」のスクーリングを1月までに全て受講し、指導教員の面接指導を受けます。以降、指導に基づき研究を進めます。
- (3) 論文中間発表会が開催されます(年2回)。1年次と同様に、指導教員の指導を受けて、2回ともに出席し、最低1回、研究成果の発表を行います。そして発表会で得た批評を再考し、さらなる研究を展開します。
- (4) 1月末までに、2年次の研究成果を「研究報告論文」(40,000字程度)にまとめ、事務局に提出します。
- (5) 「歴史学研究指導演習Ⅱ」のスクーリングの受講と「研究報告論文」により「歴史学研究指導演習Ⅱ」の成績評価が行われ、合格すれば2単位を得ることができ、3年次の「歴史学研究指導演習Ⅲ」の履修に進むことができます。もしも不合格であった場合、3年次に「歴史学研究指導演習Ⅱ」を再履修することになり、1年間の在学延長が確定します。

## ●3年次

- (1) 1年次および2年次に提出した「研究報告論文」をもとに、引き続き研究指導を受けます。
- (2) 研究の進展に応じて、「歴史学研究指導演習Ⅲ」のスクーリングを全て受講し、指導教員の面接指導を受けます。以降、11月末までに「博士の学位請求論文」(100,000字程度)の提出を目指して、研究を進展させます。
- (3) 論文中間発表会が開催されます(年2回)。指導教員の指導を受けて研究成果の発表を行います。そして発表会で得た批評を再考し、「博士の学位請求論文」として仕上げていきます。
- (4) 指導教員の承認を得て、11月末までに、「博士の学位請求論文」を事務局に提出し、審査を受けます。
- (5) 1～2月に審査員3名(主査1名・副査2名)の口頭試問による最終試験を受けます。
- (6) 審査員の論文審査の結果報告に基づき、研究科教授会で「博士の学位」授与の可否が審議、判定されます。その結果「可」と判定されれば、課程修了となります。なお、同時に「歴史学研究指導演習Ⅲ」も合格となり2単位を修得することができます。「否」と判定された場合は、その判定内容をもとに、指導教員のさらなる指導を受けて研究を再開し、翌年度以降「博士の学位請求論文」を再提出し、課程修了を目指すことになります。

## ●補足

規定のスクーリング(面接指導)以外に、随時、面接指導を受けることができます。

## 入学から修了までの基本スケジュール

	学 生		指導教員
	授業科目の履修	「博士の学位請求論文」の作成	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●3月「研究計画書(案)」提出</li> </ul>	
1 年 次	<ul style="list-style-type: none"> <li>●指導教員担当の「研究指導演習Ⅰ」1科目を履修</li> <li>5月～1月にスクーリングを受講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●6月「研究計画書」提出</li> <li>●7～9月 論文中間発表会</li> <li>●12月 論文中間発表会</li> <li>●1月「研究報告論文」提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●研究指導教員の決定</li> <li>●研究計画の立案指導</li> <li>●研究計画の了承</li> </ul> <p>●研究、論文作成指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●随時、メディア等を利用して論文作成指導</li> <li>●次年度研究計画の指導</li> </ul>
2 年 次	<ul style="list-style-type: none"> <li>●指導教員担当の「研究指導演習Ⅱ」1科目を履修</li> <li>1月までにスクーリングを受講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●7～9月 論文中間発表会</li> <li>●学会で口頭発表</li> <li>●11月 学術雑誌への投稿</li> <li>●11月～12月 論文中間発表会</li> <li>●1月「研究報告論文」提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学会で口頭発表を指導</li> <li>●学術雑誌(学会誌を含む)への投稿を指導</li> <li>●次年度研究計画の指導</li> <li>●「博士の学位請求論文」概要了承</li> </ul>
3 年 次	<ul style="list-style-type: none"> <li>●指導教員担当の「研究指導演習Ⅲ」1科目を履修</li> <li>「博士の学位請求論文」提出までにスクーリングを受講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●博士論文作成</li> <li>●7月～9月 論文中間発表会</li> <li>●11月～12月 論文中間発表会</li> <li>●11月「博士の学位請求論文」(100,000字程度)提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学内外の研究発表の評価および批判に基づき、研究指導</li> <li>●「博士の学位請求論文」提出了承</li> </ul> <p>●研究科教授会に審査請求</p>

※上記のスケジュールは基本モデルです。特に2年次においては、学外学会での口頭発表や学術雑誌(学会誌を含む)への投稿等、指導教員の指導を受けつつ積極的な取り組みが望まれます。

(補足)○「博士の学位請求論文」の受理を研究科教授会で決定し、その後、審査員(3名)により審査が開始されます。

○1～2月中旬頃に口頭試問等による最終試験を実施した後、研究科教授会にて、審査員の論文審査報告の内容を審議し、「博士の学位」授与の可否を判定します。

### 専修免許状課程登録

1年次（入学時）の所定期間に登録を行い、所定の科目を履修（単位修得）することによって、修士の学位取得を基礎資格として、修了と同時に教育職員専修免許状を取得することが可能です（臨床心理学専攻では取得できません）。詳細は『大学院ガイド』p.28を参照してください。なお、取得に際しては、専修免許状の根拠となる1種免許状を所持していることが前提となります。

#### 手続方法・期間

1年次（入学時）の所定期間に、必要書類を提出してください。なお、登録手続きの詳細については、入学式・専攻別オリエンテーション時にお渡しする資料にて確認してください。

※手続きは1年次（入学時）のみ可能です。

#### 登録上の注意

専修免許状課程登録のできる条件は以下の通りです。

- ①取得希望の専修免許状にかかる1種免許状をすでに所持していること。
- ②上記の1種免許状を所持していない場合、「教職・諸資格課程登録」（p.28参照）にて1種免許状の登録も同時に行うことが必要になります（「数学」は登録不可）。ただし、修得単位数の増加による負担が大きく、修士論文作成を含み、修士課程の修了に支障をきたす恐れがありますので、修士課程在学中には専修免許状取得にかかる科目を各自で履修し（各種登録手続き不要）、大学院を修了後に1種免許状を取得したうえで、個人で専修免許状を申請する方法を推奨します。

#### 登録費

無料

## 教職・諸資格課程登録

教職・諸資格課程登録とは大学院生が修了単位の他に、教員免許状や資格を取得するためにその課程を登録し必要な科目を履修することをいいます。この履修は学部聴講によるものですので、履修方法・申込みなどはすべて学部（本科）に準じます。詳細は『大学院ガイド』p.29を参照してください。

### 手続方法・期間

1年次（入学時）の所定期間に、必要書類を提出してください。なお、登録手続きの詳細については、入学式・専攻別オリエンテーション終了後に通信学務課までお申し出のうえ確認してください。

※手続きは1年次（入学時）のみ可能です。

### 登録上の注意

- ①登録できるのは「1教職」または「1資格」です。
- ②「教職」課程を登録する場合、修得単位数の増加（60単位程）、教育実習等の実施（幼稚園・小学校4週間、中学校3週間、高等学校2週間。その他小学校・中学校は介護等体験7日間が必要）などから、修得単位数の増加による負担が大きく、修士論文作成を含み、修士課程の修了に支障をきたす恐れがありますので、修士課程在学中には専修免許状取得にかかる科目を各自で履修し（各種登録手続き不要）、大学院を修了後に1種免許状を取得したうえで、個人で専修免許状を申請する方法を推奨します。
- ③「数学」免許状課程は登録できません。
- ④大学院の修了要件が充足し、教職・諸資格の取得にかかる科目の履修が完了していない場合は、修了単位が優先され、免許あるいは資格を取得せずに修了することになります。
- ⑤この登録により、追加される科目の履修方法は学部（本科）の規程に抛ります。テキスト履修科目の科目最終試験やレポート提出方法、履修期間など、大学院の規程とは異なりますので、履修にあたっては特段の注意が必要です。
- ⑥スクーリング履修について、大学院修了にかかる科目と教職・諸資格取得にかかる科目の開講日程が重複し、修業年限内にすべての科目を履修できない場合があります。
- ⑦「学校図書館司書教諭」の資格取得には基礎資格として小学校・中学校・高等学校または特別支援学校のうち、いずれかの教育職員免許状を有していることが条件となります。基礎資格を有していない方は取得できません。
- ⑧教育学研究科 臨床心理学専攻においては「臨床心理士資格認定試験受験資格」「公認心理師国家試験受験資格」の課程登録の必要はありません。

### 登録費

155,000円

※この他にスクーリング受講料・教育実習費などが別途必要です。

# 学習支援について

## サポート体制

### インフォメーションセンター

わからないことをすぐに確認したい、そのような学生の方の要望に応えるために、インフォメーションセンターを設置し、質問などに対応しています。

### 図書館（成徳常照館）

2020年4月現在、約105万冊の図書と約13,000タイトルの雑誌を収蔵しています。地下2階から4階までの閲覧席は約680席、2階から4階には学習用のパソコンを備えた「研究個室」が各8室設置されているほか、複数人で図書館資料を閲覧しながら利用できる「グループ学習室」もあります。

通信教育課程の在学学生は、宅配便による送本貸出・返却（往復の送料は本人実費負担）も可能です。ほか、文献複写の取り寄せ、現物借用、他大学図書館での閲覧申請なども、FAXやE-mail等から手続きできます。また、図書館ポータルサイト「BIRD」では、データベースや電子ジャーナルなどを自宅など学外からでも24時間利用することができるほか、前述の送本貸出、文献複写の取り寄せ、現物借用についても、オンラインで申し込みできます。

開館時間は、通学課程の授業日は9:00から20:00、夏期スクーリング期間中は8:30から21:00となっています。その他、大学の行事により、開館時間を変更したり臨時休館することもありますので、詳細は図書館ホームページ（URL：<https://www.bukkyo-u.ac.jp/library/>）で確認してください。

### 学習支援システム「B-net」

インターネットを使った学習支援システム「B-net」からより簡単に、より快適に学ぶことができます。

#### 【推奨環境】

##### [OS]

Windows 8.1 / 10  
MacOS X(10.9以上)

##### [ブラウザ]

Chrome(最新版を推奨)、Internet Explorer11、  
Mozilla FireFox(最新版を推奨)、Safari 7/8/9/10/11(MacOSのみ)

##### [ネットワーク]

無線LAN(IEEE802.11ac対応(1Gbps以上)を推奨)または、  
有線LAN(1000Base-T対応を推奨)

※オンラインでのスクーリングを受講する場合、webカメラ、マイクが必要です。

## 各種制度

### 奨学金制度

#### 佛教大学大学院通信教育課程奨学金（給付）

金額	採用／募集方法	採用期間	採用人数	採用条件
21万円 (臨床心理学専攻は 31.5万円)	学校推薦	単年度	修士課程、 博士後期課 程各専攻2 名以内	本学通信教育課程大学院に在籍する修士課程2年生（臨床心理学専攻のみ3年生も該当する）、博士後期課程2年生・3年生の者で、 ①学業・人物ともに優秀である者 ②各専攻からの推薦を受けた者 但し、最短修業年限内の者に限る。

#### 特定分野研究助成金雲井昭善奨学金

金額	採用／募集方法	採用期間	採用人数	採用条件
50万円	学校推薦	単年度	2名以内	本学大学院仏教学専攻（修士課程・博士後期課程）に在籍する者で、 ①人物・学業とも優秀で研究者となる資質を有する者 ②特定分野研究助成金の対象として専攻から推薦を受けた者

#### 特定分野研究助成金渡辺千壽子奨学金

金額	採用／募集方法	採用期間	採用人数	採用条件
50万円	学校推薦	単年度	2名以内	本学大学院社会福祉学専攻（修士課程・博士後期課程）に在籍する者で、 ①人物・学業とも優秀で研究者となる資質を有する者 ②特定分野研究助成金の対象として専攻から推薦を受けた者

### 勤労学生の所得税の控除

年間所得が一定の基準額に満たない場合、所得税法により勤労学生控除が適用されます。基準額・適用の詳細は勤務先の給与係もしくは居住地の税務署へお問い合わせください。

### JRなどの運賃の学生割引

スクーリング受講の際などにJRなどを利用し、乗車区間が片道100kmを超える場合は、普通旅客運賃（普通乗車券のみが対象）が2割引となります。

### 通学定期券

夏期スクーリング受講の際には、JRおよび京阪神地区の主な私鉄の通学用定期券を購入することができます。

### 郵便料金の特別扱い

本学通信教育に係る郵便物を本学に送付する際は、第4種郵便が適用され、郵便料金が低額になります。  
※政府の方針により制度そのものが変更される場合があります。

### 託児施設

本学（紫野キャンパス）で開催されるスクーリングを受講する学生のお子様をお預かりできる託児施設があります。お預かりすることのできる幼児・児童の対象年齢は3歳から小学6年生まで、料金は、幼児・児童一人あたり、1時間500円です。（2020年4月現在）

# お問い合わせ等

## 来学および電話によるお問い合わせ

### ●事務局・インフォメーションセンターの開室時間

	通信教育課程事務局	インフォメーションセンター
平日 (木曜日を除く)	9:00～17:00(13:00～14:00を除く)	
土曜日	休 室	9:00～17:00 (行事のない一部土曜日を除く)
学部のスクーリング開講日	8:30～17:00(12:00～13:00を除く)※	8:30～17:00(13:00～14:00を除く)※
学部の科目最終試験日	休 室	9:00～16:00
上記以外の日曜日・祝日	休 室	
事務取扱休止日 ※学内行事等により変更になる場合もあります	●本学でのスクーリング開講日を除く木曜日 ●学内法定点検 ●創立記念日	●年末年始一斉休暇 ●通学課程入学試験日および通信教育課程大学院入学試験日

※電話は9:00～17:00の対応となります。

電話番号 **075-491-0239**

※出願受付期間直前や受付期間中など、電話がつながりにくい場合があります。

また、内容によっては、即答できない場合があります。申し訳ございませんが予めご了承ください。

※開室時間は変更する場合があります。その際は、随時ホームページ上でお知らせします。予めご了承ください。

## 過去問題の請求方法

過去問題を希望される方は、通信教育課程ホームページよりご請求ください(送料とも無料)。

※発送には数日を要しますので、余裕をもってご請求ください。